

2008 年 11 月 20 日

報道関係者各位

GOLD 日本委員会

世界 COPD デー メディアフォーラム 2008 のご案内

**肺年齢を知ることからはじめよう、
いきいきシニアライフ**

～かかりつけ医は 40 代からの肺機能測定を！～

日時：2008 年 12 月 3 日（水）17:00～19:00

会場：三菱ビル コンファレンススクエア エムプラス 1F「サクセス」

喫煙が主な原因とされる肺の生活習慣病 COPD は、世界の死亡原因第 4 位に挙げられる疾患であり、各国で早期発見・早期治療への積極的な取り組みが実施されています。COPD に関する世界的な研究・教育組織である GOLD (Global Initiative for Chronic Obstructive Lung Disease) ^{*)} では、2002 年から、11 月のうちの 1 日を“世界 COPD デー”に制定し、COPD に関するさまざまな啓発活動を推進しています。日本では“世界 COPD デー”に関連して、2002 年に記者発表、2003 年からは一般市民向けの啓発行事ならびに報道関係者への情報提供を行ってきました。2004 年からは「世界 COPD デー日本委員会」、2007 年からはその発展形である「GOLD 日本委員会」を組織し、啓発活動に取り組んでおります。本年は、報道関係者の皆様に COPD に関する最新の情報を紹介する「世界 COPD デー メディアフォーラム 2008」を、12 月 3 日（水）に開催いたします。

メディアフォーラム 2008 では、「肺年齢を知ることからはじめよう、いきいきシニアライフ」と題して、昨年のメディアフォーラムで「肺年齢」コンセプトを紹介し大きな話題となった久留米大学 相澤久道先生による『『肺年齢』で早期発見 肺の病気 COPD』、過去 5 年間の世界 COPD デーの啓発イベントで得られた約 3000 人のデータを再解析し、今年の APSR (アジア太平洋呼吸器学会) で順天堂大学 植木純先生が発表した「日本の一般生活者の肺機能と肺年齢 ～世界 COPD デー COPD チェックイベントデータの解析～」、COPD と関連の深い喫煙とシニアの健康に関する話題として京都大学 三嶋理晃先生の「喫煙が招く COPD と全身の病気」、北海道大学 西村正治先生の「禁煙で守ろう、肺の健康」を、GOLD^{*)} エグゼクティブコミッティーメンバーで、GOLD 日本委員会委員長である順天堂大学医学部呼吸器内科 客員教授 福地義之助先生の進行で発表いたします。

*1) COPD の医療水準の向上と啓発活動を行うため、WHO (世界保健機関) と NHLBI (米国立心肺血液研究所) の呼びかけのもと、日本を含む世界 50 か国以上の専門家を中心となり発足させた組織。2002 年から、毎年 11 月中旬の水曜日の 1 日を「世界 COPD デー」に制定し、COPD の予防、早期診断・早期治療の普及を目的にさまざまな活動を展開しています。今年も、11 月 19 日（水）が「世界 COPD デー」です。

ご多用のところ誠に恐縮ですが、万障お繰り合わせの上、ご参加いただきたくお願い申し上げます。なお、ご出欠の FAX 返信用紙は、12 月 1 日（月）までにご返送いただければ幸いです。

この件に関するお問い合わせ先
株式会社共同 PR メディックス
担当：白武(しらたけ)／寺田
TEL:03-3581-5181 FAX:03-3581-5182

肺年齢を知ることからはじめよう、 いきいきシニアライフ

～かかりつけ医は 40 代からの肺機能測定を～

■メディアフォーラム 2008

日時： 2008 年 12 月 3 日(水) 17:00～19:00 (受付 16:30 より)

場所： 三菱ビル コンファレンススクエア エムプラス 1F「サクセス」
(東京都千代田区丸の内 2-5-2/TEL 03-3282-7777)

プログラム： 司会進行 順天堂大学医学部 呼吸器内科 客員教授 福地義之助先生
1. 『肺年齢』で早期発見 肺の病気 COPD
久留米大学医学部 内科学講座 呼吸器・神経・膠原病内科部門 教授 相澤久道先生
2. 「日本の一般生活者の肺機能と肺年齢
～世界 COPD デー COPD チェックイベントデータの解析～」
順天堂大学医療看護学部 専門基礎内科学 教授 植木 純先生
3. 「喫煙とシニアの健康 (1) 喫煙が招く COPD と全身の病気」
京都大学大学院医学研究科 呼吸器内科学 教授 三嶋理晃先生
4. 「喫煙とシニアの健康 (2) 禁煙で守ろう、肺の健康」
北海道大学大学院医学研究科 呼吸器内科学 教授 西村正治先生

- 主催： GOLD 日本委員会
- 共催： アストラゼネカ株式会社、アボット ジャパン株式会社、大塚製薬株式会社、杏林製薬株式会社、グラクソ・スミスクライン株式会社、田辺三菱製薬株式会社、帝人ファーマ株式会社、ニコメッドジャパン株式会社、日本ベーリンガーインゲルハイム株式会社、ノバルティスファーマ株式会社、ファイザー株式会社、
- 後援： 日本医師会、日本呼吸器学会、日本呼吸ケア・リハビリテーション学会、日本呼吸器疾患患者団体連合会

会場までの地図

